

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構運営委員会（第63回）議事要旨

- 1 日 時 令和4年3月22日（火）10：59 ～ 12：09
- 2 場 所 WEB会議
- 3 出席者 石井、井田、金子（修）、金子（元）、川嶋、杉山、竹中、土屋、中野、新田、水田、光田、森、山口、山本、吉川の各運営委員
（岸本、高橋（哲）、高橋（真）の各運営委員は委任状提出）
福田機構長、長谷川理事、湊屋理事、小笠原監事、柴監事、絹笠審議役、丸山審議役、小野寺管理部長、森評価事業部長、高比良調査役、ほか機構関係者

4 運営委員会（第62回）議事要旨について

令和3年12月16日に開催された運営委員会（第62回）議事要旨（案）が確認され、確定版として了承された。

5 議 事

《審議事項》

（1）教員の選考等について

①教員の選考、②特任教員の雇用更新、③研究開発部長の選考、④客員教員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

（2）各種委員会委員等の選考について

①学位審査会委員及び専門委員、②各認証評価委員会委員等の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

なお、今後、欠員補充などの必要が生じた場合は、その選考を従来と同様に会長に一任することが了承された。

《報告事項》

（1）各種委員会委員等の選考について

国立大学教育研究評価委員会専門委員の選考について、会長一任による追加発令があったことの報告があった。

（2）令和4年度調査研究計画（案）について

令和4年度調査研究計画（案）について報告があった。主な意見は以下のとおり。

（○：運営委員、●：事務局、以下同じ）

- 研究計画について、具体的なスケジュール及び成果の発表方法は記載されないのか。
- 基本的に特に期間を定めず実施しているのが現状であるが、本件については現在、研究開発部内でも議論しているところであり、一定の期間内に一定の成果を出すというのが本来研究のあるべき

姿と考えている。

- 本件は報告事項ではなく審議事項としていただきたい。期間を設けることについて研究開発部内で検討中ということだが、研究プロジェクトであれば、期間を設けるのは当然であり、また、発表方法についてもあらかじめ決めるべきではないか。
- 審議事項とすることも検討したが、数年前に評議員会と運営委員会との役割分担の議論の中で、教員及び委員の任命に関しての審議を中心とすることによって、議事の重複を避けるという整理を行ったため、今回は報告という形にさせていただいた。今後は審議事項とする方向で改めて整理したい。

以上